

◎ 奈良・人と自然の会

＜わたしたちは大和の自然を愛します＞

カエルの伝染病「ツボカビ症」

小田 久美子

今日(6/14)遅い梅雨入りをしました。そして久しぶりの雨に喜んだのかなんと住宅地の真ん中なのに元気なカエルの声がしています。雨に似合ううれしいBGMです。

「ツボカビ症!」春、こんな見出しを見て「なんだこりゃ」と驚いた方もいるかと思えます。怖いニュースでしたがその後の報道はありません、どうなったのかが気になるところです。たかがカエルじゃないかなんて考えている貴方、ひとつとではありませんよ。

幸い人には感染しませんが、とはいえ間接的に私たちの生活を脅かす存在でもあります。感染するとツボのような形の菌が体中に出来てカエルは確実に死にいたるそうです。近年世界中で猛威を振るいオーストラリアや中南米では固有種のカエルが絶滅に瀕し大問題となっています。最近ついに日本国内でもペットのカエルで発生が確認されました。

カエルはハエ、蚊を大量に食べてくれます。そのカエルが減ると当然ハエや蚊が大発生します。ハエや蚊は不快だけでなく、ヒトに病気をもたらす感染症を媒介し、日本国内で発生の見られなかった悪性マラリアや西ナイル熱などが新たに発生するきっかけになるでしょう。又カエルは農作物を荒らす害虫も食べるためカエルが減ると害虫が増え、農薬がどんどん使われることになるでしょう。

ペットのカエルにこの奇病が発生したらビックリして捨ててしまう人もいるでしょう。そしたらたちまち在来種のカエルたちにこの病気が蔓延しますし、死骸を土に埋めても土壌は汚染されるそうですし、飼育箱などの遺留品も汚染されてしまつて危険だということです。なんと恐ろしいこと!! 映画で見たエイリアンの襲来を連想させます。

日本は世界中からペットを持ち込むペット輸入大国です。中にはワシントン条約に触れる動物の密輸(?)も横行しています。

そういう珍しい生き物を飼う人たちは、往々にして安易に生き物を捨てる人が多いように思います。こんな極端な例でなくても日本にいるはずもないワニが池で見つかつてニュースになったり、アライグマやヌートリアなどが自然に溶け込んで繁殖し日本の生態系を乱しつつあります。でもかれらに罪はありません、ゆえなく日本に拉致されて来てただ「真面目に生きること」をしているだけ。罪は私たち人間の側にあります。

日本は島国なので動植物に貴重な固有種も多く、固有種ゆえの体力不足もあり、突破口を潜り抜けられたら外敵の侵略(?)にはひとたまりもありません。

「鎖国」がいいとは思いませんが、あまりに節操のない今の日本人の暮らしぶりを反省しないと、このままでは「国家の品格」ともども絶滅していくようで哀しいです。

5月度例会 「吐山(はやま)・向淵(むこうじ)のスズラン群落の観察会」報告

担当 境 弓場

実施日 5月23日(水) 天候 快晴

参加者 北 林 弓場(夫妻) 山田 川岸 豊島 田伏 豊田 市村(夫妻) 川井
新谷 小田 福谷 吉村 西谷 砂山 志水 境

(以下シニア花9期) 白石 金馬 辻井 矢野

以上24名

コース概要

近鉄榛原駅発9時12分のミニバスに総勢24名が乗車、吐山南口にて下車。下車地点にてコースの概要説明と会長挨拶。準備体操をはぶいて、田植えの終わった田んぼの横をゆっくりとスタートする。鶯の舞うのどかな田園を歩くこと10分程度で、最初の目的地吐山の国指定天然記念物スズラン群生地に着く。土地の人の保護で見事な群生地を作っており、ちょうど開花が始まったばかりで2~3分が咲いており、多くはつぼみであったが、普段見慣れたドイツスズランと違い可憐な花にカメラのシャッターを切った。これより、吐山の集落に向かって下る。途中タニウツギ(俗にあぜ塗り花)の見事な花を眺めながら奈良県天然記念物ヒダリマキガヤに着く。カヤの実を拾い左巻きかどうかしばらく意見交換に花が咲きました。これより下部(おりべ)神社に移動し、イチヨウに巻き付いたフジの大木を期待していたのですが現在枯れて根っこだけになっており、残念ながら観察できませんでした。山の神の祭祀場を経て、奈良県青少年野外活動第2センターにミズバショウを観察、トイレ休憩の後、向淵に向かう。11時50分国指定天然記念物スズラン群生地向淵到着。ここでも見事な群落を観察、昼食の後、向淵の集落を経て竜王淵に向かう。途中アスファルトの県道を1kmほど車に気を遣いながら歩くが、これより本日最もきつい100mを直登し竜王淵に着く。静かで、見事な淵で、キツキ(ケラ)のドラミングを聞きながらしばらく休憩。本日の最終目的地の戒長寺へ向かう。戒長寺の正面の階段を、息を切らせて登ると、県指定天然記念物であるオハツキイチヨウ、そして樹齢300年(500年?)とも言われる日本最大のハウノキを観察。ハウノキはちょうど花を付けており大変ラッキーでした。これより東海自然歩道を歩き、額井岳(大和富士)を仰ぎながら山部赤人の墓を経て天満台東3丁目よりバスにて榛原駅へ。3時40分榛原駅にて解散しました。

今回のコースは、当初山の中を歩く計画をしていたのですが、国土地理院の地図での道がたいへん荒れており、下見段階でコースを余儀なく変更し、国道や県道を、また一部私有地の牧舎を歩くことになりました。

このコースは、町村合併で吐山は奈良市に、向淵は大宇陀市の行政区画になっておりますが、里山の原風景を残しており、自然を十分に堪能することが出来ました。

コース全体にアップダウンはさほどでは、なかったのですが行程が13.3kmと長く、天候もよすぎたので一部の人には若干きつい行程になったのではないのでしょうか。



6月例会 「森野旧薬園とカザグルマ自生地を訪ねる」 実施記録

実施日： 6月7日(木) 天候： 晴れ

参加者： 27名 川井 山田 勝田 齋藤 弓場 永井 小西 小西(り) 尾上 林
高橋 市村 市村(米) 豊田 前木 平塚 守口 豊島 北 阿部
小田 福家 吉村 志水 砂山 家入 明石 (敬称略)

担当： 明石 小田

梅雨の時期となり、毎日の天気予報に一喜一憂し、例会実施にGOサインが出た時はホットしたものでした。参加者27名という人数に対処して、榛原駅9:15のバスで第一陣出発、9:33第二陣後発。賑やかな例会となった。

大宇陀道の駅をスタート。大願寺(織田家祈願所)の樹齢300年といわれる「モミの木」等を見た後、「史跡・森野旧薬園」へと向い、園内自由散策。その後、「まちなみギャラリー」の屋内・庭をお借りして(無料)、ゆっくり休憩と昼食を取る。身だしなみを整え、下見時のルートを変更し、山中をぬうように、緑深まる道をカザグルマ自生地へと直進した。カザグルマの花期は4月～6月。開花が心配であったが、運悪くの中。既に花は1ヶ月前に終わっていた。27名は地元農家の「植田 稔」さん宅にお邪魔し、庭で育てている「カザグルマ」を拝見させて頂くこととなった。花は終わっていたものの、石垣を背に立派に育つカザグルマの姿は、金色に輝き満開の様に見え、一風変わった趣がありました。

植物に詳しい高橋さんの、カザグルマ・テッセン・クレマチスの解説があり、再度の訪問を胸に一応満足。「植田さん」にお礼を述べ、終着地「八咫鳥神社」「高塚バス停」へと向い、無事例会を終了しました。

- * 参加者の自己紹介を忘れました。*カザグルマの自生地は立入禁止区域です。無断で立ち入る事はやめましょう。*自然観察にはルールを守って行動しましょう。*例会参加者は、まとまった行動をする様心掛けましょう。

以上、担当者の反省と例会参加者へのお願い事を申し述べさせて頂き、終わります。

自然俳句欄



移ろいのカザグルマ散る宇陀郡 川井 秀夫

6月例会。歲月人を待たず 自然は無常である。一カ月遅かった。
考えて見れば、「風車」は五月の薫風に似合う。

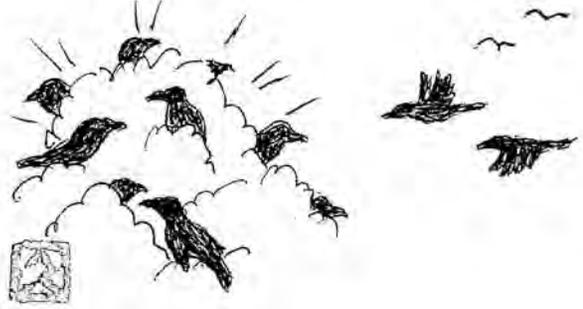


カラス、どこが悪い!? (I)

小田 久美子

(題名は他本から)

先月、スズランの自生地を歩いた時にカラスの巣立ちヒナの死体を見ました。何があったのか、触ればまだ暖かそうなその子のかたわらの電柱の上には親とおぼしきカラスがいました。時には傍若無人な無法者とにがにがしく思うこともあります。こんな光景に出会うと自然界で生きる厳しさを垣間見た気がします。



【 以下は「カラスはどれほど賢いか」唐沢孝一著より一部】

『鳥の中でカラスくらい賢い鳥は他にはいないだろう。何事にも好奇心が強く、大胆にして細心、団結心が強く、常に果敢で積極的な生き方をしている。しかし、こうしたカラスの持って生まれた資質は、人々に注目され時には畏敬の念を持って迎えられる反面、その優秀さがかえってあだとなり、嫌われ方、気味悪がられ方も尋常ではなくなる。こうした優れた能力を備えているカラスにとって最大の不幸は、カラス以上に賢く身勝手な“ヒト”という動物と生活圏が重複し、競合していることである。カラスが動物として懸命に生きようとする行為が、ヒトにとっては許し難い被害となる場合が多い。ヒトは動物界の中で最も損得問題に敏感な動物ではあるまいか。少しでもカラスに非があればこれを糾弾し、有害鳥獣の烙印を押し、駆除動物に指定する。しかしよく考えてみれば、ヒトもカラスも所詮は同じ穴のムジナではないか。動物生態学の立場からみれば、ヒトもカラスも同罪である。同罪どころか生物界全体からすれば自然を破壊し多くの動植物を死滅に追いやり自らの墓穴を掘ろうとしているヒトという動物こそ、もっとも罪深い存在であろう。しかし・・・』と続きます。 一面と同じ目線でカラスを考えてみました。



大台ヶ原 西大台 利用調整地区指定のご案内

弓場 厚次

大台ヶ原は近畿の屋根とも呼ばれ、山上は広い台地状の隆起準平原に成っておりますが周囲は深い溪谷に囲まれ、屋久島と並ぶ日本でも最も雨の多い山岳地帯です。大台ヶ原は大峰山系に比べて古人も江戸時代の末期まで「魔の山」「迷いの山」と恐れて足跡を残しませんでした。

1936年に吉野熊野国立公園、1940年に特別保護地域に指定された大台ヶ原は、トウヒ林や本州太平洋型ブナ林等の自然林で森林生態系を形成しておりました。1954年の伊勢湾台風では大量の風倒木が発生し、東大台は明るい森に変貌し、さらに1961年に大台ヶ原ドライブウェイの開通と日本百名山ブームで入山者数は近年・年間30万人を超える様になり、白骨林の正木峠や日出ヶ岳を巡る「東大台」に集中しております。一方の「西大台」はブナやウラジロモミを中心に深い樹林に覆われ、入山者も極僅かな人達で原生的な自然を楽しんでおられます。

昨年の12月に自然公園法に則り「西大台」が全国で初めての利用調整地区に指定され、この原生的自然環境を保持するために、9月1日から入山規制が行なわれる事になりました。課題はまだまだ多い調整内容の様ですが、別添ガイドは法律による規制ですのでお目通しをいただき、ルールを守り自然公園法に違反の無い様にご注意下さい。(大台ヶ原地区パークボランティア)



★ 5月23日午後5時18分 去年より9日遅れで ホトトギスが鳴きました。今年は来ないのかと心配していました。「キヨ キヨ キヨキヨ」と聞こえたときは「夏がきた！」とうれしくなりました。この声がないと寂しいですものね。家の南西方向にある「貝吹山」で毎日鳴いています。カッコウは去年1日だけ声をきかせてくれましたが今年はまだです。来てくれるかな？ 同じ山から夕方7時頃(5月7日)ツツドリやらアオバヅクの声が2日間ほど聞こえていたので今年は ホトトギスも早く来るかなと思ってましたが遅かったです。(齋藤)

★『斑鳩より』5/27 大和川でカルガモにカラスが何度も襲いかかっていました。よく見るとたくさんのヒナがいるのです。母ガモは必死に首を振り、羽を動かして追い払っていました。カラスはどこかに行きました。少しするとお母さんは子供たちを連れて逃げ去りました。自分の後ろに10羽を集めてまるで大きな尾羽のようにして・・・カモたちは草の中に隠れました。しばらくすると親子はまた出てきました。ヒナを石の間に水浴びをさせ自分は見張っていました。それ以後親子を見ませんでした。6/4 久しぶりに親子のカルガモを見ました。子供は少し大きくなっていましたが、1羽しかいませんでした。前の親子と同じとは言えませんが、ヒナたちが全部大きくなるのは並大抵のことではないのですね。(枚方の市村さんの近くのカルガモのヒナも10羽が1羽になったそうです) (勝田)



原則 前日の午後7時前のNHK天気予報で降水確率(午前)60%以上の場合は中止

7月度例会「海住山寺と古の都、恭仁京を訪ねて」

時代を遡り、明治の時代(農業用水路)、そしてもっと古い聖武天皇時代の遺構を偲びながら、古都を散策しませんか。

日時：7月2日(月) 集合時間：10:00 解散 15:00 場所：JR加茂 持物：しっかり水分を

交通：JRナンバ 8:44～天王寺 8:52～王寺 9:12～奈良 9:31～木津 9:42～加茂 9:48

9:02 9:10 9:29 9:46 9:54 10:00

近鉄ご利用の方は恐れ入りますが、JR奈良駅まで出向きJRにお乗りください。

行程：JR加茂～大井出用水路(デレーケ堰堤)～海住山寺～恭仁京～JR加茂(約6km)

担当：大石： 林：

天候：前日午後7時前の天気予報で京都府南部の降水確率が60%以上の時は中止。

※ 8月の例会は休みとします。

『ならやま里山林プロジェクト』

- 場所： 奈良市奈良坂町（JR 平城山駅下車徒歩10分）古都保存法に基づく県有林
- 日時： 7月 7日（土） 9時 終了予定 2時30分
7月24日（火） 9時 終了予定 2時30分
*雨天等による中止の場合 予備日 7月31日（火）
- 集合： 現地Bゾーン（会報6月号記載の地図を参照ください）
- 交通： ①近鉄奈良駅 バス13乗場8：23発 高の原行：佐保台西口下車
②近鉄高の原駅 バス1番乗場8：30発 JR奈良行：佐保台西口下車
「ならやま大通り」の信号を渡り左に20m、人専用道を右に下り、右折し、自転車専用道路沿いに約300m
- 担当： 古川 小楨

ならやまプロジェクト・レポート 6月

6月7日（火） いよいよ「ならやまプロジェクト」が始動しました。

入梅間近かで真夏日を思わせる快晴。ベース・キャンプの近くではクワの大木が甘酸っぱい実を付けています。

午前9時、男女総勢12人が集合。先月草刈し、その後、県の生活環境部が耕起しておいてくれた場所に畝作りし、サツマイモの苗500本を植えました。ついでにカボチャを10本、それぞれに刈り草などでマルチングをしました。秋の収穫が楽しみです。当日は県の担当窓口の笠置さん、岸本さんも激励に見えました。昼食後は梅の実の採取、ブルーシートを敷いて棒で落としたのが10キロ近くあったでしょうか。皆で分けて持ち帰りました。収穫第1号です。

活動日の以外の日にも、会員有志が自転車専用道路沿いにコスモスとチューリップを植えたり、畑には枝豆播いてくれるなど、次第に形が出来てきました。

次回（6月26日）はベース・キャンプで自然工作の準備、竹藪間伐のテスト、次々回（7月7日）は竹工作の研修をします。

一方、女性更衣用テントの設置テストも終わり、受け入れ態勢も整いつつあります。次は、そろそろスモモが熟れる番です。会員の皆様、是非一度のぞいてみてください。

（古川祐司 記）

【奈良忍辱山森林整備作業】

- （場 所） 奈良市忍辱町 国有林 東海自然歩道沿いの二次林です。
（忍辱山円成寺駐車場）より徒歩10分
- （集合場所） 国道369号線 忍辱山円成寺駐車場
（奈良交通バス停 円成寺口と忍辱山円成寺の間）
- （日 時） 7月： 12日（木）、22日（日）
8月： 2日（木）、29日（水）

【集合時間Am9：00、終了予定Pm2：00ころ…夏場 早く始めます】

- （天 候） NHK天気予報（前日PM7時前）60%以上中止します。



(交通) 奈良交通バス 近鉄奈良駅前バス乗り場④番 8:18 柳生・月ヶ瀬温泉行き
(持ち物) 作業のできる服装、昼食、飲み物、手袋、
ヘルメット、のこぎり、防護メガネなどの用具は、準備していますが、
お手持ちのものあれば持参ください。

ご参加お待ちしております!!

(連絡先) 弓場厚次 明石嘉一郎
阿部和生

作業報告

19年度 森林整備作業の許可書が5月末に届き、6月より作業を再開しました。

6月6日(水)快晴: 奈良森林管理事務所の 大谷調整官、宮技術官とともに、新年度の打ち合わせを現地で行い、その後作業を実施した。弓場、中畑、小森、阿部が参加しました。林辺部にいま少し光が差し込み、明るくなることを念頭に、道路への危険木の除去作業も含め取り組んできました。PM2時30分終了、3時解散。

協力活動 「いこま棚田クラブ」活動ご案内

【7月の取り組み】

作業日…7月1日(日)、9日(月)、15日(日)、23日(月)、29日(日)

集合場所…近鉄生駒駅下車(鶴橋駅より快速15分)南口側ケーブル鳥居口駅西隣
セブンイレブン前 9:00集合(現地まで車で移動約15分)

竹炭改良第二号窯完成、ジャガイモの収穫、ナタネの精製、楽しいことが一杯です。

- ◇ 持ち物…弁当、飲み物、観察用品、軍手、長靴、(作業のできる服装でお越しください)
- ◇ 連絡先…事務局 大寺道代

社会貢献事業へのお誘い

社会貢献事業に下記の2件、「工作」で参加します
興味のある方の参加お待ちしております (詳しい事は、担当迄)



1: **奈良県民の集い** (矢田山遊びの森)

主催: 奈良県農林部

日時: 7月21日(土)

場所: 矢田山遊びの森

担当 本郷

小嶺

2: **夏休み子供教室**

主催: 奈良市、きやんす家

後援: 奈良・人と自然の会、ならコープ

日時: 8月19日(日)

場所: 奈良市都祁、花はなビレッジ

担当: 阿部

小嶺

平成19年6月度幹事会議事録

日時：6月5日（火）午後5：30～8：30 場所：奈良県女性センター
出席者：14名 司会：境 書記：豊島

【報告事項】

- (1) 会員数：87名 現金残高：357,121円
- (2) 5月度例会「吐山・向淵のすずらん群落の観察会」5月23日（水）参加者：24名
すずらん群落（3～4分咲き）と戒長寺の朴ノ木、お葉つきイチョウを観察しました。
- (3) 奈良・忍辱山森林整備作業は奈良営林署の許可が遅れており、5月の作業は中止しました。六月以降再開します。
- (4) いこま棚田クラブ 4回の定例会実施。5月26日の生駒市主催スカイウォークに協力。
- (5) その他 大台ヶ原の西大台が9月から入山制限されるとの情報提供がありました。

【承認事項】

- (1) ならやま里山林プロジェクトについて
関連機材の購入と取り組み方針、活動計画について協議し、確認しました。原則として月2回の活動日を設定し、9月まではインフラ整備とマップづくりを行い、10月以降本格的に里山林の整備作業を実施します。
- (2) 7月21日（土）なら森を育てる県民の集いに木工作（せみまるくん）で参加します。
- (3) 8月19日（日）NPO法人きゃんす家主催のはなはなビレッジのイベントに後援し、昨年同様木工作の指導で協力参加します。

【討議事項】

- (1) 幹事会（9月以降）の開催日程等を検討しました
- (2) 備品の登録簿を作成し会計が管理することを確認しました。
- (3) 6月から8月の行事について確認しました。
例会 6月7日（木）森野旧薬園とカザグルマ自生地をたずねて
7月2日（月）海住山寺と恭仁京を訪ねて
9月 布目川甕穴群と木津川の夏
11月 熊野古道（1泊予定）
忍辱山整備作業 6月6日、6月24日 7月未定
- (4) 講師を派遣した場合の扱いについて協議しました。
- (5) 森林環境教育指導者養成研修について受講希望者の確認をしました。

編集後記：今国内の河川で外来種の巻貝「コモチカワツボ」が急速に繁殖中のようです。カワナナの稚貝そっくりでホタル繁殖用にと放流されたとか。ホタルの幼虫が成虫になる割合や発光力も半減以下で「このままではゲンジボタルが激減する」との警告の記事。今月号の「ツボカビ症」で指摘の事例がつぎつぎと出てきそうな危惧の念を抱きました。動物だけでなく植物においても・・・

編集担当：勝田 均
TEL&FA

【当会の行事における傷害事故等については個人負担とし、当会は賠償等一切の責任は負いません】

奈良・人と自然の会事務所

会長 川井 秀夫